

まえがき

この追補は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正したもので、これによって、**JIS B 2809:1996** は改正され、一部が置き換えられた。

ワイヤグリップ
(追補 1)Wire ropes—Grips for rope or wire strand
(Amendment 1)

JIS B 2809:1996 を、次のように改正する。

1. (適用範囲) の備考 2. の JIS B 0148 巻上機用語を、JIS B 0148 巻上機一用語に置き換える。

1. (適用範囲) の備考 2. の JIS B 0209 メートル並目ねじの許容限界寸法及び公差を、JIS B 0209-1 一般用メートルねじ—公差—第 1 部：原則及び基礎データに置き換える。

1. (適用範囲) の備考 2. の JIS G 5702 黒心可鍛鉄品を、JIS G 5705 可鍛鉄品に置き換える。

4.2 (めっき性能) の(2)の“JIS H 8610 の Ep-Fe/Zn[3-C 2]”を、“JIS H 8610 の Ep-Fe/Zn[3]/: C”に置き換える。

6.2 (寸法) の“U ボルト及びナットのねじ精度は、JIS B 0209 を適用し、”を、“U ボルト及びナットのねじの寸法許容差は、JIS B 0209-1 を適用し、”に置き換える。

6.2 (寸法) の注(1)の“JIS B 1256 に規定する座金のみがき丸を併用する。”を、“JIS B 1256 に規定する座金の並形を併用する。”に置き換える。

6.2 (寸法) の注(1)の“JIS B 1181 の附属書 (ISO 4032～4036 及び ISO 8673～8675 によらない六角ナット) に規定する 1 種のナット”を、“JIS B 1181 の附属書 1 (規定) (ISO 4032～4036 及び ISO 8673～8675 によらない六角ナット) に規定する 1 種の六角ナット”に置き換える。

9.2 (表面処理) の(2)の“U ボルト及びナットのねじ精度は、JIS B 0209 を適用し、U ボルトは 8g、ナットは 7H とする。ただし、溶融亜鉛めっきを施した場合のねじ精度は、”を、“U ボルト及びナットのねじの寸法許容差は、JIS B 0209-1 を適用し、U ボルトは 8g、ナットは 7H とする。ただし、溶融亜鉛めっきを施した場合のねじの寸法許容差は、”に置き換える。

附属書 1 [鋳造製ワイヤグリップ (MR 形)] の **4.2** (めっき性能) の(2)の “JIS H 8610 の Ep-Fe/Zn[3-C 2]” を, “JIS H 8610 の Ep-Fe/Zn[3]/ : C” に置き換える。

附属書 1 [鋳造製ワイヤグリップ (MR 形)] の **6.2** (寸法) の “U ボルト及びナットのねじ精度は, JIS B 0209 を適用し,” を, “U ボルト及びナットのねじの寸法許容差は, JIS B 0209-1 を適用し,” に置き換える。

附属書 1 [鋳造製ワイヤグリップ (MR 形)] の **6.2** (寸法) の注⁽²⁾の “JIS B 1256 に規定する座金のみがき丸を併用する。” を, “JIS B 1256 に規定する座金の並形を併用する。” に置き換える。

附属書 1 [鋳造製ワイヤグリップ (MR 形)] の **6.2** (寸法) の注⁽²⁾の “JIS B 1181 の附属書に規定する 1 種のナット” を, “JIS B 1181 の附属書 1 に規定する 1 種の六角ナット” に置き換える。

附属書 1 [鋳造製ワイヤグリップ (MR 形)] の附属書 1 表 2 (寸法) の備考 3.の JIS G 5702 を, JIS G 5705 に置き換える。

附属書 1 [鋳造製ワイヤグリップ (MR 形)] の **8.** (材料) の “JIS G 5702 の FCMB310” を, “JIS G 5705 の FCMB31-08” に置き換える。

附属書 1 [鋳造製ワイヤグリップ (MR 形)] の **9.2** (表面処理) の(2)の “U ボルト及びナットのねじ精度は, JIS B 0209 を適用し,” を, “U ボルト及びナットのねじの寸法許容差は, JIS B 0209-1 を適用し,” に置き換える。

附属書 2 [鋳造製ワイヤグリップ (MS 形)] の **4.2** (めっき性能) の(2)の “JIS H 8610 の Ep-Fe/Zn[3-C 2]” を, “JIS H 8610 の Ep-Fe/Zn[3]/ : C” に置き換える。

附属書 2 [鋳造製ワイヤグリップ (MS 形)] の **6.2** (寸法) の “U ボルト及びナットのねじ精度は, JIS B 0209 を適用し,” を, “U ボルト及びナットのねじの寸法許容差は, JIS B 0209-1 を適用し,” に置き換える。

附属書 2 [鋳造製ワイヤグリップ (MS 形)] の **6.2** (寸法) の注⁽²⁾の “JIS B 1256 に規定する座金のみがき丸を併用する。” を, “JIS B 1256 に規定する座金の並形を併用する。” に置き換える。

附属書 2 [鋳造製ワイヤグリップ (MS 形)] の **6.2** (寸法) の注⁽²⁾の “JIS B 1181 の附属書に規定する 1 種のナット” を, “JIS B 1181 の附属書 1 に規定する 1 種の六角ナット” に置き換える。

附属書 2 [鋳造製ワイヤグリップ (MS 形)] の附属書 2 表 3 (寸法) の備考 3.の JIS G 5702 を, JIS G 5705 に置き換える。

附属書 2 [鋳造製ワイヤグリップ (MS 形)] の **8.** (材料) の “JIS G 5702 の FCMB310” を, “JIS G 5705 の FCMB31-08” に置き換える。

附属書 2〔鑄造製ワイヤグリップ（MS 形）〕の **9.2**（表面処理）の**(2)**の“U ボルト及びナットのねじ精度は，**JIS B 0209**を適用し，”を，“U ボルト及びナットのねじの寸法許容差は，**JIS B 0209-1**を適用し，”に置き換える。